

# 商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

【令和4年5月12日（木）】

## ◆調査箇所：株式会社関屋リゾート ガレリア御堂原（別府市堀田）

＜概要＞

株式会社関屋リゾートは、他にないもの、本物であることの2点を大切に、売上増大や人材育成による別府のリゾート産業の活性化に取り組んでいる。

令和2年12月にオープンした、3施設目の宿泊施設にあたるガレリア御堂原は、別府の地層をイメージした建物に、アーティスト作家らによる別府に関するアート作品が館内随所に設置されている。



＜主な質疑等＞

- ・ホテルコンドミニアム投資の状況及び展望について
- ・従業員の人材育成、研修の取組について

## ◆調査箇所：東部振興局

＜概要＞

東部振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、観光の振興、地域活性化の事業、スペースポート関連事業、新型コロナウイルス感染症の影響と取組など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・宇宙港に関する具体的な取組や国東市との連携について
- ・るるパークの活性化及び広報について

## ◆調査箇所：本田航空株式会社大分事業所（国東市武蔵町糸原）

＜概要＞

本田航空株式会社大分事業所では、空港に隣接しているメリットをいかし、無駄なく集中的に訓練できる環境のもと、優秀なパイロットを輩出して社会に貢献している。また、大分空港の宇宙港開港を応援する取組として、ふるさと納税の返礼品に大分フライトトレーニングセンターでの訓練体験を提供している。



＜主な質疑等＞

- ・宇宙港の取組による、飛行訓練等への影響について
- ・訓練生への助成や就職について

【令和4年5月19日（木）】

◆調査箇所：よのうづ国際交流の会（佐伯市米水津浦代浦）

＜概要＞

よのうづ国際交流の会は、米水津在住の外国人と一緒に地域での交流活動を行い、異文化交流を通して住み心地のよい地域を作り、地域発展に貢献している。

また、外国人労働者向けに日本語教室や防災おまもりの作成等の活動をしている。その結果、米水津の企業では、令和4年5月19日時点で98人の外国人が働いている。



＜主な質疑等＞

- ・外国人の受入れについて（新型コロナウイルスの影響、人材確保のための配慮）
- ・外国人が帰国した後のつながりについて
- ・佐伯市や大分県との関わりについて

◆調査箇所：南部振興局

＜概要＞

南部振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、観光の振興、商工業の振興、新型コロナウイルスの影響と取組状況など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・マリンカルチャーセンターの跡地について
- ・アウトドアガイドの養成及び現状について
- ・新型コロナウイルスの影響について（製造業者、外食業者）

◆調査箇所：株式会社山忠（佐伯市鶴谷町）

＜概要＞

株式会社山忠は、ひじきをはじめとする多くの食用海藻類の分野でトップランナーとして活躍するとともに、ひじきの製造工程において、異物混入のAIによる画像識別や排出の自動化などにも取り組んでいる。

また、海藻の洗浄等に使用した水を浄化し、環境への負担を軽減するため、排水処理施設を設置している。



＜主な質疑等＞

- ・異物混入の識別方法について
- ・ひじきの製造ラインについて

【令和4年5月20日（金）】

◆調査箇所：有限会社津崎商事（竹田市久住町久住）

＜概要＞

有限会社津崎商事は、本場のスコットランドの設備を用いて、伝統的な製法によるシングルモルトウイスキーを製造するとともに、製造工程で生まれる廃棄物を肥料に還元する循環型ビジネスに取り組んでいる。

その取組は、第19回大分県ビジネスグランプリで優秀賞を受賞している。



＜主な質疑等＞

- ・ウイスキーの製造方法及び貯蔵方法について
- ・麦芽粕の再利用について

◆調査箇所：豊肥振興局

＜概要＞

豊肥振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、観光の振興、商工業の振興、新型コロナウイルスの影響と取組状況など概要説明を受け、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・バスのオープンデータ化と観光への活用について
- ・DESTINATIONキャンペーンに向けた観光商品について（テッパン！おおいた、サイクルトレイン、ガイド認証）

◆調査箇所：株式会社村ネットワーク（豊後大野市大野町田中）

＜概要＞

株式会社村ネットワークは、素材本来の味や栄養、色などを損なわない野菜のパウダー加工に、多くの品目で成功するとともに、見積り計算をシステム化するなどのDXにも積極的に取り組んでいる。

自動見積作成システム、ベジマリメインは、令和3年度に開催された全国中小企業クラウド実践大賞、九州・沖縄大会で、最高賞である九州総合通信局長賞を受賞した。



＜主な質疑等＞

- ・DX化とHACCP対応に要した事業費及び補助率について
- ・働きやすい職場環境への取組について

#### ◆調査箇所：企業局大野川発電所（豊後大野市犬飼町大寒）

<概要>

大野川発電所は、県営最初の発電所で、昭和27年に完成した。年間供給電力量は7,300万キロワットアワー以上になる見込み。令和3年度にリニューアル事業が完了し、運転が再開された。

リニューアル事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・発電所の浸水対策について
- ・水車ランナーのモニュメント展示について

【令和4年5月23日（月）】

#### ◆調査箇所：中部振興局

<概要>

中部振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、観光の振興、商工業の振興、新型コロナウイルスの影響と取組状況など所管事業の概要説明を受け、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・公共交通のオープン化の活用について
- ・ネットワークコミュニティ組織について（財源確保、市との連携）
- ・「ゆふいん安心の宿宣言」等の具体的な内容について

#### ◆調査箇所：大分高等技術専門学校（大分市下宗方）

<概要>

新規学卒者や離転職者・一般求職者に対し、職業に関する知識や技能を習得させる県立職業能力開発校。2年制訓練のメカトロニクス科、1年制訓練の電気設備科、自動車整備科、空調配管システム科、木造建築科の5科を設置し、ものづくり産業の発展に寄与する人材育成を行っている。

また、様々な職業訓練のニーズを踏まえ、介護福祉士養成科など、各種委託訓練を行っている。



<主な質疑等>

- ・委託訓練の内容、費用負担について
- ・新規学卒者の入校状況について

#### ◆調査箇所：ニシジマ精機株式会社新大分工場（大分市流通業務団地3丁目）

##### <概要>

ニシジマ精機株式会社は、鉄製品関連の機械部品の溶接や加工の実績を持つとともに、小型衛星「てんこう」の内部構造の機械加工を担当するなど、宇宙分野の新たな事業への挑戦を続けている。

令和3年11月に大分流通業務団地に、主に半導体関連部品を製造する新工場を建設した。



##### <主な質疑等>

- ・ 地元の人材確保について
- ・ 最新設備について（更新頻度、導入実績）

#### ◆調査箇所：一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター（大分市府内町）

##### <概要>

一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンターは、宇宙・スペースポートをキーワードに宇宙関連産業の創出や人材育成等に取り組んでいる。

令和4年5月23日時点で法人51社、個人17名、賛助20団体、学生26人の会員が入会しており、会員と連携した事業を創出している。



##### <主な質疑等>

- ・ 宇宙港のビジネス展開について
- ・ 県民が関心を持ったための情報発信について
- ・ お墓の見守りサービスについて

#### 【令和4年5月30日（月）】

#### ◆調査箇所：大分県立工科短期大学校（中津市東浜）

##### <概要>

大分県立工科短期大学校は、産業界で活躍する優秀な工科系人材を教育訓練する短期大学校、企業が求める技術力と人間力をあわせ持つ人材を育成するため、現在3系（機械システム系、電気・電子システム系、建築システム系）7コース制の教育訓練体制を取っている。

職業訓練の状況、溶接実習室などの概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・ 入学希望者の確保について
- ・ 卒業生の就職状況について（県内就職率、県内就職への取組、高校新卒者との違い、半導体関連事業への就職）

#### ◆調査箇所：株式会社ムロヤ（中津市諸町）

##### <概要>

株式会社ムロヤは、平成30年に一時休業となった創業1716年のむろや醤油を存続させるため、事業を継承した。事業継承を機に、和菓子やフリーズドライ味噌汁等の新商品を開発している。

また、中津市内の商品を詰め合わせた、ナカツハコを企画、開発し、中津市の地方創生に取り組んでいる。



##### <主な質疑等>

- ・ナカツハコの販売方法について
- ・事業継承の状況について（職人や従業員、製造方法）
- ・県や政治に対する要望について

#### ◆調査箇所：アドテック株式会社（宇佐市上田）

##### <概要>

アドテック株式会社は、体外診断用医薬品分野における国内トップクラスの技術力をいかし、令和3年1月に新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットを開発した。

また、宇佐市が行う高齢者施設等へのキット無料配布事業へ協力したり、会社の2階部分で不登校や退学者等対象のフリースクールを開校したり、地域貢献にも取り組んでいる。



##### <主な質疑等>

- ・新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットの開発について
- ・工場内の従業員について
- ・変異株や他のウイルスへの応用について

#### ◆調査箇所：北部振興局

##### <概要>

北部振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、観光の振興、商工業の振興、新型コロナウイルスの影響と取組状況など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・外国人労働者について（就労環境改善補助金、地域との交流、受入環境）
- ・観光の取組について（インフラツーリズム、農泊、台湾や香港との関わり）
- ・女性活躍推進事業の具体的な効果について

【令和4年5月31日（火）】

◆調査箇所：西部振興局

＜概要＞

西部振興局から、管内の状況、商工観光労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興、観光の振興、地域振興、新型コロナウイルスの影響と取組状況など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・ ツール・ド・九州の具体的な内容について
- ・ ひたジェニックキャンペーン事業等のフォトコンテストの具体的な内容について
- ・ 補助金を利用した事業を継続するための工夫について

◆調査箇所：HITA - SHIKI project 運営委員会

＜概要＞

HITA - SHIKI projectは、令和2年に運営委員会を発足し、大分県日田市内の飲食店、酒造メーカー、民芸、観光などの関係者が集まり、地元の農産物をいかしたスイーツや「五感ただよう日田ハイボール」などのアルコールのメニューを開発している。

生産者と連携して、地元の人に愛される活動に取り組んでいる。



＜主な質疑等＞

- ・ プロジェクトの参加者及び販売方法について
- ・ アンケートの集計作業について
- ・ 事業を継続させるための運営資金について

◆調査箇所：株式会社ティーアンドエス ITファームKUSU（玖珠町帆足）

＜概要＞

株式会社ティーアンドエスは、ITファームKUSUを今年4月に開校し、入校者は半年間、毎月20万円の支給を受けながら、プログラミング技術などを学ぶことができる、一流の人材育成カリキュラムに取り組んでいる。

また、現在、旧カウベルランドくすを利用した地域振興とSDGsにも取り組んでいる。



＜主な質疑等＞

- ・ メタバースへの取組について
- ・ ITファームKUSUへの入校者について（年齢制限、経験者）

◆調査箇所：株式会社アーネット（大分市中島西）、久大林産株式会社（九重町野上）

<概要>

株式会社アーネットは、林業事業者、森林組合、振興局等と連携して、林業従事者の作業中の事故リスクを低減するIoTデバイスを開発している。

また、久大林産株式会社は、スマート林業の実践及び大型高性能林業機械の導入等により、持続可能な森づくりに取り組んでいる。

株式会社アーネットが開発したデバイスは、久大林産株式会社等にて利用している。



<主な質疑等>

- ・NTN衛星の届く範囲について
- ・接近に応じた警報の鳴り方について
- ・林業分野での女性の採用状況について